

一般質問通告書

受領日時 令和5年8月28日 午前11時10分

1番 氏名 工藤政彦

質問項目	質問の要旨
1 内川川について	<p>(1)湯ノ又橋に架かる水管橋の工事着手の遅れについて</p> <ul style="list-style-type: none">・橋から垂れ下がって設置されている水管橋が内川川の氾濫に起因したことは全てだとは思わないが、その関係性は否めないと思う。なぜ工事着手が遅れたのか説明を。 <p>(2)「身の淵頭首工」が内川川の氾濫に起因していないか</p> <ul style="list-style-type: none">・河川などから農業用水を用水路へ引き入れるための施設として重要な構造物であると理解するが、頭首工の開閉を災害時に開放していたのか。開放していたとしても川の氾濫に影響がなかったのか。 <p>(3)内川川全体に関係することだが、全面的に雑木の伐採、浚渫工事の実施が必要</p> <ul style="list-style-type: none">・「身の淵頭首工」付近からは、雑木、堆積した土砂等により急激に川幅が減少している。早急に雑木伐採、浚渫工事に取りかかる必要がある。 <p>(4)「内川川のバイパス河道工事」(河川の付け替え工事)が必要『大休院付近の橋を過ぎてから右側へ被災を受けた住家の後方を通り身の淵頭首工に取り付けるルート』</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年に続き、今回も同じ被害を受けた住民がたくさんいる。被災された住民の「やるせない」気持ちが痛いほど伝わってくる。勿論、雑木の伐採、浚渫工事の早期着手は必要である。しかし、この工事をしたから河川の氾濫は防げるとは思えない心境だ。この際、内川川のバイパス河道工事(河川の付け替え工事)を提言する。・例：国土交通省では、平成30年度第2回災害対策等緊急事業推進費として、全国22件の災害対策に対し、緊急的に予算配分した。東北では、平成30年5月豪雨により甚大な浸水被害が発生した「雄物川水系 雄物川」、「馬場目川水系 馬踏川」の2河川に対し、再度災害を防止するための災害対策等緊急事業推進費が配分された。この例に倣い今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に河川改修を実施し、地域住民の安全・安心を確保していただきたい。 <p>(秋田市新城川の例も参考にしたい)</p>

2

馬場目川について

(1)馬場目川と八郎湖の接続部に「排水機場」を新設できないか
・馬場目川においても、早急に雑木の伐採、浚渫工事が必要であり、現在既に磯ノ目地区付近の工事に着手していただいているが、大規模な河川改修（河川の拡幅、築堤などの嵩上）の必要もあると考える。

また、大元の馬場目川から八郎湖に注がれる水の流れが滞ったり、大雨により八郎湖水面の調整がうまくいかなく、防潮水門を開けてもスムーズで効率的な流れが実現できなかった。これらの要因で五城目町は甚大な被害を受けてしまったと考えられる。

そこで、大雨などによる市街地や農地などへの水害を未然に防止するために排水ポンプを運転して、雨水や生活排水などを強制的に排出するための施設、「排水機場」の新設を提言するものである。

(2)人の生命と財産を守るための目的などで設置される「排水機場」が、なぜ馬場目川流域には設置されていないのか。また、されなかったのか聞きたい。

・八郎湖には、三種川や馬場目川、馬踏川など 20 余りの河川が注いでいる。湖には、降水も含めて年間およそ 12 億 m^3 の水が流れ込み、ほぼ同量が防潮水門から日本海へ流れ出ている。

八郎湖には、北は三種町から南は潟上市まで数十個所の「排水機場」が設置されている。

逆流の生じる所では、普段でも強制的に排水している排水機場もあると聞く。

これらの「排水機場」はどれも必要なものとして建設されたものと思う。すり鉢状の地形をしている「磯ノ目地区」、馬場目川の氾濫があれば必ず床上浸水は免れない。早急な対策をする必要がある。

・例：能代市の悪土川と米代川の合流地点に設置されている排水ポンプ、「悪土川救急排水機場」、能代市二ツ井町比井野地内「比井野救急排水機場」を参考にして、国県へ緊急要望する必要あり。

(米代川の水位上昇により悪土川の排水が不能となった場合、逆流防止のため門扉を閉め、吸水槽に湛水させ、水中ポンプにより、堤防沿の吐出管を通し、強制的に米代川へ排除し、内水被害の軽減を図るもの。)

この「排水機場」は、内川川と富津内川の合流地点、富津内川と馬場目川の合流地点にも、是非とも必要な施設であると考えられる。

<p>3 富津内川について</p>	<p>(1) 上山内地区、下山内地区の雑木伐採、浚渫工事の早期着工は勿論のこと、河川の拡幅工事、築堤の嵩上げ工事が必要と考える。</p> <p>両岸の築堤の嵩上げは勿論必要であるが、予算を考慮した工事としては、住家のある右岸川の築堤工事、嵩上げ工事を早急に開始する必要があると考えるが。</p>
<p>4 浄水場の新設について</p>	<p>(1) 今回の大雨に伴い浄水場は大規模な浸水被害を受けた。</p> <p>復旧へ向けての作業等に多くの方々の労力、全国、姉妹都市など他市町村からの応援支援、ボランティアの皆様による支援、温泉施設の無料開放など心温まる支援に感謝である。</p> <p>今後同様の浸水があった場合の対応を講じる必要はあるが、この際、浸水の被害を受けない高台への新設の検討をしてみてもどうか。</p>